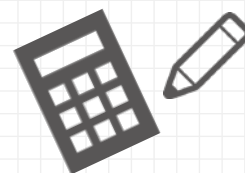


黒部市の財政状況

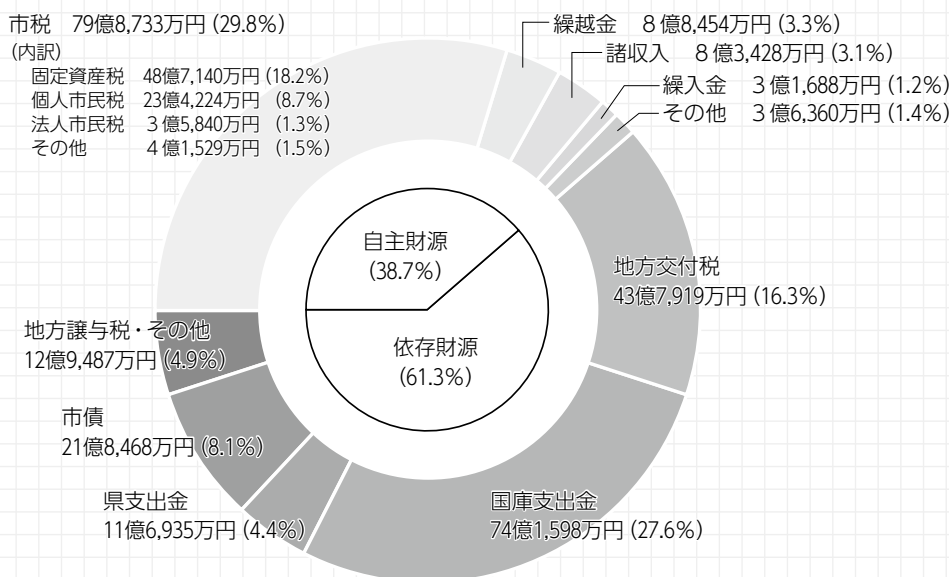
令和2年度 決算報告



市議会9月定例会において認定された一般会計、特別会計および企業会計の決算を報告します。
皆さんから納付いただいた税金や国・県からの補助金などの使われ方や市の財政状況などをお知らせします。

◆問合せ 財政課 ☎54-2116

一般会計歳入 268億3,070万円



*各グラフの構成比は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値と一致しません。

一般会計歳入

一般会計の歳入は前年度に比べ、58億1,758万円(27.7%)の増となりました。歳入のうち、市が独自に調達できる自主財源は103億8,663万円と、前年度に比べ2億4,548万円(2.3%)の減となりました。これは法人市民税が5,127万円(12.5%)減少するなど、市税で1億4,990万円(1.8%)の減となったためです。また、国や県から交付される補助金などの依存財源は164億4,407万円と、前年度に比べ60億6,306万円(58.4%)の増となりました。これは、新型コロナウイルス感染症対策などにより国庫支出金が53億9,416万円(166.8%)増加したためです。

特別会計・企業会計決算

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	36億 615万円	34億8,522万円
後期高齢者医療事業	11億4,808万円	11億4,808万円
発電事業	1億8,846万円	1億8,846万円
地域開発事業	694万円	302万円
牧場事業	2億7,738万円	2億7,738万円
フィッシャリーナ事業	1,032万円	1,032万円
企業会計	歳入	歳出
病院事業		
収益的事業	125億7,646万円	116億7,958万円
資本的事業	11億 552万円	22億4,062万円
水道事業		
収益的事業	3億4,266万円	3億3,544万円
資本的事業	3億2,351万円	4億1,297万円
簡易水道事業		
収益的事業	1億1,855万円	1億1,763万円
資本的事業	1億2,160万円	1億4,107万円
下水道事業		
収益的事業	17億2,892万円	16億9,125万円
資本的事業	13億9,216万円	19億7,610万円

*収益的事業については、決算額から消費税を除く。

令和2年度 決算報告

令和2年度一般会計

歳入	268億3,070万円
歳出	259億7,189万円

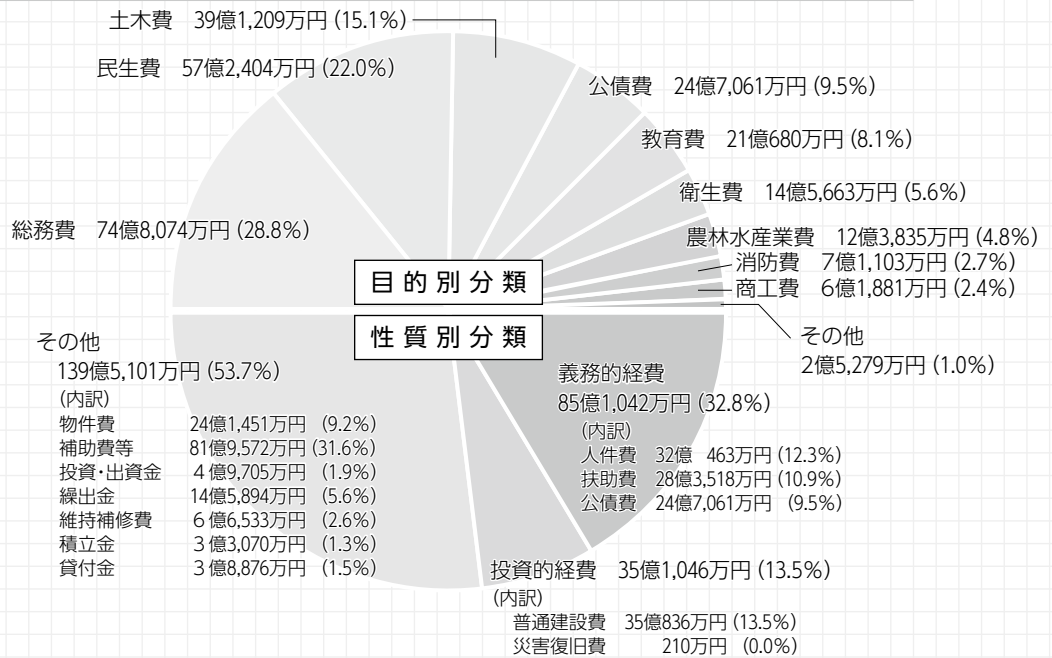
令和2年度一般会計の差引は、8億5,881万円の黒字決算となりました。そこから、令和3年度へ繰り越した事業に必要な金額を除いた実際の黒字は、6億3,038万円です。

市の財政は健全な状態を維持

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算定された比率(表1)は、イエローカードである早期健全化基準値を全て下回っており、また実質公債費比率、将来負担比率ともに、財政状況は健全な状態を維持しています。

市債残高(表2)は前年度より減となりました。社会資本整備分の借入れにあたっては、地方交付税措置のある市債を最大限活用することで、市の実質的負担額の抑制に努めています。

一般会計歳出 259億7,189万円



一般会計歳出

一般会計の歳出は前年度に比べ58億4,331万円(29.0%)の増となりました。

歳出のうち目的別で見えた場合、最も大きいのは総務費で、主に新型コロナウイルス感染症対策事業費であり、特別定額給付金や小中学校の感染症対策などの経費です。前年度に比べ53億4,835万円(250.8%)の増となりました。

次いで大きいのは民生費で、主に高齢者福祉や障がい者福祉、子育て支援などに使われたお金です。前年度に比べ2億1,130万円(3.8%)の増となりました。

また、性質別で見えた場合、最も大きいのは補助費等で、特別定額給付金や子育て世帯臨時特別給付金などの各種補助金や消防活動費、ごみ処理等にかかる一部事務組合への負担金などに使われました。

表1 財政指標からみた黒部市の財政状況

比率名	指標の概要	R2年度 (R元年度)	早期健全化 基準値 (イエローカード)	財政再建 基準値 (レッドカード)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の比率	— (—)	12.95%	20.00%
連結実質赤字比率	全会計を対象とした赤字の比率	— (—)	17.95%	30.00%
実質公債費比率	収入から借金返済等に充てられた比率	11.6% (11.5%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	収入に対して将来負担が見込まれる負債の比率	104.2% (115.0%)	350.0%	
資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	— (—)	経営健全化基準値 20.0%	

*赤字額および資金不足額がないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は「—」と表示

表2 市債残高と地方交付税措置(見込)額

	令和2年度	R元年度
市債残高(A)	303億4,799万円	305億1,366万円
(主な内訳)		
社会資本整備分	189億9,476万円	188億7,282万円
臨時財政対策債	101億8,482万円	101億5,107万円
地方交付税措置(見込)額(B)	193億3,040万円	197億5,081万円
市の実質的負担額(A-B)	110億1,759万円	107億6,285万円

市債とは

借金による資金調達のことです。

市債残高のうち、社会資本整備分は、道路、小中学校等の整備に要した借金です。臨時財政対策債は、本来国から交付される地方交付税の一部を、市が代わりに借入したもので、この返済相当額は後年度に地方交付税で全額措置されます。